

貸 借 対 照 表

令和 7年 5月31日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 1, 089, 788】	【流動負債】	【 2, 633, 923】
現 金	999	買掛金	9, 559
普通預金	373, 522	未払金	35, 605
ゆうちょ銀行	22, 201	未払費用	28, 203
売掛金	63, 839	前受金仮	2, 512, 620
有価証券	7, 925	受金	2, 061
商品及び製品	1, 327	未払消費税	1, 491
前渡金	1, 185	預り金	3, 200
前払費用	462, 343	未払法人税等	582
立替金	105, 123	インプラント保証引当	40, 598
仮払金未	8, 294	【固定負債】	【 18, 195】
収入金預	3, 215	繰延税金負債(固定)	18, 195
け金	41, 939	負債の部合計	2, 652, 119
貸倒引当金(流動)	△2, 129		
【固定資産】	【 201, 566】		
(有形固定資産)	(7, 480)	純資産の部	
建物附属設備	5, 895	科 目	金 額
車両運搬具	667	【株主資本】	【 △1, 360, 764】
工具器具備品	4, 430	【資本金】	【 25, 000】
減価償却累計額(201)	△1, 024	【資本剰余金】	【 25, 000】
減価償却累計額(205)	△1, 973	資本準備金	25, 000
減価償却累計額(204)	△514	【利益剰余金】	【 △1, 410, 764】
(無形固定資産)	(31, 575)	(その他利益剰余金)	(△1, 410, 764)
のれん	23, 572	繰越利益剰余金	△1, 410, 764
ソフトウェア	49, 385		
減価償却累計額 (244	△41, 381		
(投資その他の資産)	(162, 510)		
長期前払費用	352		
長期貸付金	141, 392		
差入保証金	810		
敷 金	1, 759		
繰延税金資産(固定)	18, 195	純資産の部合計	△1, 360, 764
資産の部合計	1, 291, 354	負債・純資産の部合計	1, 291, 354

(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて記載しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は営業外収益または営業外費用に計上）

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②インプラント保証引当金

インプラント保証サービスに係る再治療費の支出に備えるため、実績率等を勘案して将来発生すると見込まれる負担額を計上しております。

(4) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。ただし、金額に重要性が乏しいものについては、発生時に一括償却しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 当期純損益金額

当期純損失

△271,342,723 円